

安全データシート

VarioPrint i-Series Ink B1/B2 (Black)



A CANON COMPANY

1. 化学品及び会社情報

製品名 : VarioPrint i-Series Ink B1/B2 (Black)
製品コード番号 : 1070066289; 1070076239; 1070076418
製品コード (Canon) : 0928C011AA; 0928C018AA; 0926C052AA
製品タイプ : 液体。

推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 : 以下のためのインクジェット印刷インク:Océ VarioPrint i-Series. その他の用途は推奨されていません。

供給者を特定する情報 : キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社
東京都港区港南2-13-29 キヤノン港南ビル
TEL03-6719-9700(代) FAX03-6719-8710

本SDS担当者の電子メールアドレス : sds-hq@oce.com

緊急連絡電話番号(受付時間) : + 81 345 789 341 24h
化学緊急事態だけのために

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類されていない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。
危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き
安全対策 : 該当せず。
応急措置 : 該当せず。
保管 : 該当せず。
廃棄 : 該当せず。

他の危険有害性 : 認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物 : 混合物
化学物質を特定する他の方法 : データなし。

成分名	%	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法)	労働安全衛生法
カーボンブラック Water and other non-hazardous ingredients	≤3,0 ≥97	1333-86-4 -	データなし。 データなし。	データなし。 データなし。

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

- 眼に入った場合** : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 吸入した場合** : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
- 皮膚に付着した場** : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合** : 水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な急性および遅発性の症状/影響

起こりうる急性毒性

- 眼に入った場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 吸入した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場** : 人によってはアレルギー反応を引き起こすことがある。
- 飲み込んだ場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

- 応急措置をする者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項** : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
- 特定の治療法** : 特定の治療法はない。

有害性情報を参照(セクション11)

5. 火災時の措置

消火剤

- 消火剤** : 火災発生時には、ウォータースプレー、泡沫、粉末化学消火剤あるいは二酸化炭素を使用する。
- 不適切な消火剤** : ウォータージェットを使用してはならない。

- 火災時の措置に関する特有の危険有害性** : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

- 有害な熱分解生成物** : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物

- 消防士用の特別な防具と予防措置** : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

- 消火を行う者の保護** : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 緊急時要員以外の人員用** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時の責任者用** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

- 環境に対する注意事項** : 漏出した物質や、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

6. 漏出時の措置

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量流出 : 少量の場合、紙タオルなどで拭き取り空容器に回収する。
- 大量流出 : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する（セクション13を参照）。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

- 保護措置 : 適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。
- 一般的な職業衛生に関する助言 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

- 安全に保管するための注意事項 : 以下の温度範囲で保管する：5 から 30°C (41 から 86°F)。現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

曝露限界

成分名	暴露限界値
カーボンブラック	日本産業衛生学会（日本、5/2016）。 OEL-M: 1 mg/m ³ 8 時間。形状：吸入性粉塵 OEL-M: 4 mg/m ³ 8 時間。形状：総 粉 塵

- 適切な技術的管理 : 十分に換気しながら使用する。コピー機/プリンタのユーザー マニュアルまたは安全データ シートを参照してください。

- 環境暴露管理 : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。

個人の保護措置

- 衛生対策 : 化合物の取り扱い後、飲食、喫煙、トイレ使用の前、および作業終了後に手、腕、顔を十分に洗う。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。
- 呼吸用保護具 : この商品の通常の用途には必要ありません。
- 手の保護具 : 適切な手袋を着用する。4 ～ 8 時間（破過時間）：ニトリル手袋。厚さ 0.12 mm。汚染した手袋は再使用せず廃棄すること。
- 保護眼鏡/保護面 : この商品の通常の用途には必要ありません。
- 皮膚の保護
- 身体保護具 : この商品の通常の用途には必要ありません。
- その他の皮膚保護具 : この商品の通常の用途には必要ありません。

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 物理的状态 : 液体。
- 色 : 黒。
- 臭い : 無臭。
- 臭いのしきい : 未確定。
- pH : 8,5 から 9,5
- 融点 : <-10°C (<14°F)
- 沸点 : >100°C (>212°F)
- 引火点 : 開放式：>100°C (>212°F) [製品は燃焼が持続しない。]
- 燃焼点 :

9. 物理的及び化学的性質

蒸発速度	: データなし。
燃焼性(固体, 気体)	: データなし。
爆発(燃焼)限界の上限および下限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
比重	: 1,07
溶解度	: データなし。
水への溶解度	: データなし。
n-オクタノール／水分配係数	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度	: 5 – 8 mPa.s (30 ° C)
流出時間(ISO 2431)	:

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 推奨される保管および取扱い条件の下では安定(セクション7を参照)。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 高温にさらされると危険有害性の分解生成物を生じることがある。
混触危険物質	: 強力な発熱反応を避けるため、以下の物質から隔離する: 酸化剤 強酸 強アルカリ
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
カーボンブラック	LD50 経口	ラット	>15400 mg/kg	–

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

刺激性/腐食性

データなし。

結論/要約

皮膚	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
眼	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
呼吸器系	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

11. 有害性情報

感作

データなし。

結論/要約

皮膚

: 成分1,2-benzisothiazol-3(2H)-one アレルギー反応を引き起こすことがある。

呼吸器系

: 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

変異原性

データなし。

結論/要約

: エーメス試験では突然変異誘発性ではない。

発がん性

データなし。

結論/要約

: IARC はカーボン ブラックを、ヒトでは十分な根拠がないが、動物で十分な根拠がある、グループ 2 B の発がん性物質と評価しました。動物における根拠は、肺への粒子過負荷を誘発するレベルの粉末状カーボン ブラックを慢性吸入曝露したラットで、肺腫瘍が発現したことに基づいています。しかし、当製品の使用目的下では、粉末状カーボン ブラックの吸入曝露量は無視できます。

生殖毒性

データなし。

結論/要約

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇形性

データなし。

結論/要約

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

特定標的臓器／全身毒性(単回曝露)

データなし。

特定標的臓器／全身毒性(反復曝露)

データなし。

呼吸に対する危険有害性

データなし。

可能性のある暴露経路についての情報 : データなし。

概要

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発がん性

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇形性

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発育への影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖能力に対する影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値化

急性毒性の推定

データなし。

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
カーボンブラック	EC50 >100 mg/l	藻類	72 時間
—	EC50 >100 mg/l	ミジンコ類	48 時間
—	LC50 >100 mg/l	魚類	96 時間

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

残留性・分解性

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
カーボンブラック	—	—	容易ではない

生体蓄積性

データなし。

土壌中の移動性

土壌/水分配係数(K_{oc}) : データなし。

移動性 : データなし。

オゾン層への有害性

: 該当せず。

その他の悪影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	Not regulated.	Not regulated.
品名(国連輸送名)	—	—	—
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	—	—	—
容器等級	—	—	—
環境有害性	該当せず。	No.	No.
追加情報	—	—	—

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

14. 輸送上の注意

15. 適用法令

消防法

記載された成分なし。

消防法 - 妨害物質 : 非該当

指定可燃物 : データなし。

指定数量 : データなし。

海事安全

危険物の海上運送規制に関する通達

記載された成分なし。

容器等級

記載された成分なし。

労働安全衛生法

特定化学物質の用途

記載された成分なし。

ラベルに関する規定

成分名	%	状況	政令番号
カーボンブラック	≤3,0	該当	-

名称等を通知すべき危険物及び有害物

成分名	%	状況	政令番号
カーボンブラック	≤3,0	該当	130

発がん性物質

記載された成分なし。

変異原性物質

記載された成分なし。

腐食性液体 : 非該当

鉛中毒予防規則 : 非該当

四アルキル鉛中毒予防 : 非該当

製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当

製造等が禁止される有害物等 : 非該当

危険物 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : データなし。

化審法

記載された成分なし。

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

記載された成分なし。

15. 適用法令

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 2B類
海洋汚染および海洋災害防止法 : データなし。

道路法 : データなし。

特別管理産業廃棄物リスト : 非該当

日本インベントリ : 日本インベントリー(ENCS)(既存及び新規化学物質): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

国際規格

[化学兵器禁止条約リストスケジュールI、II、IIIの化学物質](#)

非該当。

[モントリオール議定書\(付属文書A、B、C、E\)](#)

非該当。

[残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約](#)

非該当。

[事前通報承認制度\(PIC\)に関するロッテルダム条約](#)

非該当。

[POPおよび重金属に関するUNECEオルフス\(Aarhus\)議定書](#)

非該当。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 30-11-2017
発行日/改訂版の日付 : 2017年11月30日
前作成日 : 16-06-2017
バージョン : 2.02

[分類を行うために使用する手順](#)

分類	正当化
分類されていない。	

参照 : データなし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。